

いつものそなえ
もしものあんしん

防災福祉コミュニティ

本年度は、当初計画していました「総合防災訓練」「樹木救命士講習会」「各種避難訓練」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

令和3年度活動報告

防災リーダー研修

防災リーダー研修は、11月14日(日) コロナ感染小規模状態で実施しました。テーマは、学園西町の防災上の実態と今後の課題及び各団地独自で取り組むべき活動について研修を行いました。特に学園西町住民の高齢化に伴う「災害時要援護者支援」「AEDの設置」「備蓄品の準備」について個別団地単位での取り組みについて討議しました。



共同避難・火災訓練

日時 10月29日(金) 内容 児童館と共に備える

学園長寿会ってこんなところ!

今、「貴方のお暮らしのなかで何かと困ったこと」「物足りなさを感じていること」「もっと日常のなかで自身を地域に役立てることに活かしたい」そんな思いも年齢を重ねることでつい渋りがちですが、一度地域の担当役員にお問い合わせください。クラブ活動で、仲間の輪を広げましょう。

《主な活動内容》

年3回のお誕生会
囲碁クラブ
カラオケクラブ
グラウンドゴルフ
児童の見守りボランティア

健康ウォーキング
ゲートボール
投輪クラブ
親睦旅行



《学園長寿会連絡先》

☎078-794-4128 携帯 080-6157-5883

🏠 連合自治会より

学園西町公園を歩いてみますと、木々にかわいい名札が付いているのに気がつきます。小寺小学校3年生と5年生の皆さんが付けてくれました。昨年度の区政懇談会で要望として出された「公園の樹木の名を知りたい」との願いを実現したものです。



本年度の区政懇談会では、①桜公園の桜の木の養生②西町公園の拡張③小寺大池交差点の改善④多間小寺線のバイパス建設⑤駅前広場の自転車規制などを要望しています。どれも一朝一夕にできるものではありませんが、地域の皆様のお力をお借りしながら少しずつ実現に向けて歩んでいきたいと思っています。

令和3年度も皆様にはいろいろと御支援をいただき感謝いたしております。特に夜間パトロール、美しい街作戦では、参加しにくい時間帯にも関わらせずご協力いただきましたこと厚くお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

連合自治会会長

📖 編集後記

新型コロナウイルス感染拡大により、令和3年4月26日～5月31日の間、当地域福祉センターの利用は会議のみとなり、地域の皆様の集いの場としての役割を休みました。その後は、感染対策を徹底し、楽しんで参加して下さるような行事も考え、形を変えながら、ふれまち協の活動を進めました。ところで、センターへ来られた時にお気づきでしょうか?

センターの植栽・花壇に素敵な木札が付いてあります。学園西町公園に違い、トライやるウィークで受け入れた中学生たちに作成してもらいました。花言葉も添えてあり、来館される方々に笑顔を誘っています。



西町発見の広報紙

ふれあい

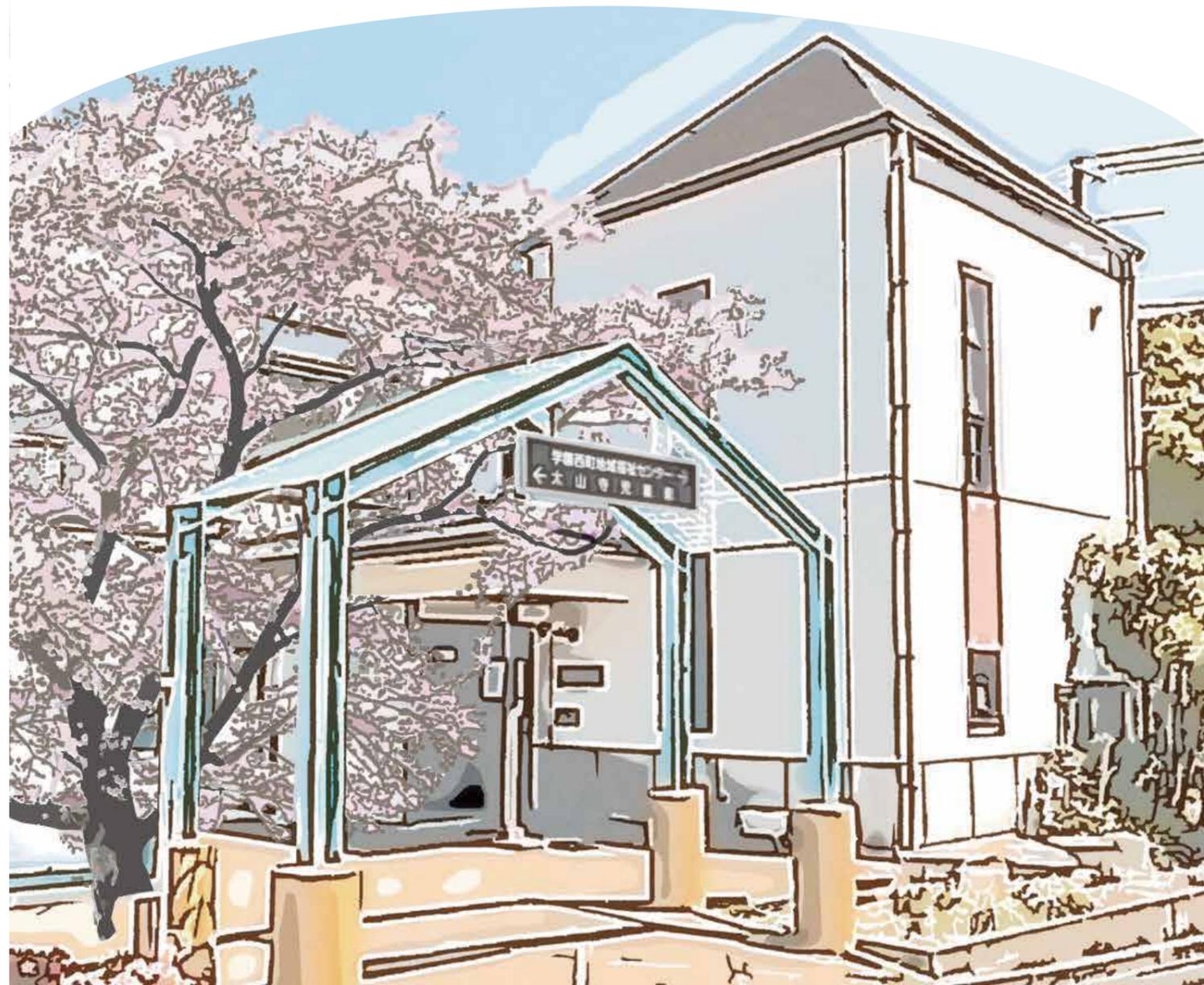
学園にしまち

FUREAI NISHIMACHI

vol.103
2022 3/12

発行
学園西町
ふれあいのまちづくり協議会

〒651-2103
神戸市西区学園西町5丁目2-3地域福祉センター内
TEL : 078-792-9572

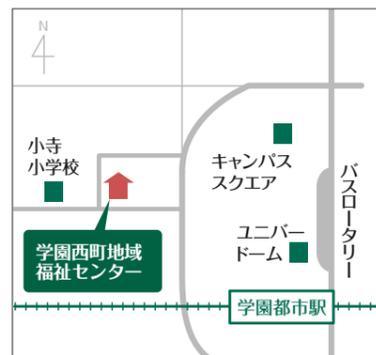


委員長あいさつ

令和3年度は、新型コロナウイルス感染対策に終始した1年でした。地域福祉センターは二度に亘る緊急事態宣言で予定していたサークル活動、各種イベントなどが軒並み中止になりご利用の皆さまには大変ご迷惑をおかけしました。利用人数も昨年10月以降若干持ち直しましたが例年の約半数に止まりました。

令和4年度は、新型コロナウイルス終息の見通しは不透明ですが、コロナ禍後を想定したサークル活動ご利用拡大・各種イベントの企画など計画してまいります。特に、昨年12月公衆無線LAN (Wi-Fi) 設置により新たな福祉センター利用を計画します。例えばパソコン教室、YouTube利用、通信カラオケなどの利用促進を行います。今後も福祉センターのより一層のご利用をお待ちしています。

ふれあいのまちづくり協議会委員長 小林 英彦



令和3年度 ふれまち報告

さまざまな活動で地域のつながりが生まれました。
新型コロナウイルス感染防止対策として縮小し、
内容を変更して活動しました。

参加延人数
5,711名/年

定例活動報告



**ふれあいサロン
喫茶「集いの木」**
地域住民と高齢者との交流、仲間づくりを進めながら楽しいひと時を過ごしていただいています。



**子育てサークル
根っ子の会**
0・1歳児と父母たちのふれあい交流の場を開催し、専門職のお話と茶話会を行っています。



**高齢者健康プログラム
ひまわり**
地域のお年寄りの閉じこもり防止とふれあいを目的として、楽しい時間を過ごしていただいています。

広報活動

- 広報紙発行年間2回
- 西区ホームページに掲載

防災・福祉コミュニティ 安心・安全なまちづくり活動

福祉センター 利用

利用日数 305日 / 年
利用人数 9,587名 / 年

高齢者生きがいづくり 学園長寿会

サークル活動や交流行事を行っています。また小学校と連携を深め子どもたちとのふれあいを大切にし、登下校時の見守り等の活動に協力しています。

ボランティアセンター 支え愛ネット

「ちょっとしたお手伝い」をする活動です。

幼児・小学生のための 楽しく学ぶ会

子どもの居場所づくりとしての交流の場。
12月：干支飾りつくり
子どもの居場所事業担当が見学されました。



ふれあい交流会 ふれあい土曜寄席

フォークソングを歌おう
(「ピバ!ニュータウン 11月号(vol.777)」に掲載されました)



民生委員児童委員協議会 ふれあい食事会

一人暮らしの方を対象に、昼食と催しを楽しんでいただいています。



学園ジュニアチームとの福祉活動

健康福祉 ヘルスアップ作戦

「住民主体の健康づくり」を進める健康増進活動と、「10年後の私を輝かせるために」を合言葉に活動を行っています。



会合・協議

総会：令和3年5月15日実施(書面による議決)
定例会：月1回
役員会：月1回

イベント活動報告

第31回 文化祭 中止
令和4年 1月16日(日)
～こころをつなぐ笑顔とあいさつ～

イベント案内

「昭和歌謡を歌おう」 参加費：無料
令和4年 14:00～
3月25日(金)・28日(月)



福祉センターコロナ対策について ●センター利用に際し次の注意事項を厳守ください●

来館時は

- マスク着用
- 来館前の検温(概ね37.5℃以下)
- スリッパ持参
- 手指消毒(入退館時)
- 来館者の申告

活動時は

- 3密(密閉・密集・密接)を避ける
- 活動室のドアは常にオープン・換気励行
- 多人数の活動は禁止(目安20人程度まで)
- 大きな声、呼吸が荒くなる活動は禁止
- センター常設食器類の使用禁止
- 飲食を伴う活動禁止

利用後の清掃(除菌)

- 除菌シート・アルコールなどで徹底したふき取りをお願いします。
- 照明、エアコンのスイッチ・窓の鍵
- サークルで使用した道具類
- 机、椅子、床、トイレの使用後

ボランティアセンターだより

ボランティアセンターはボランティアをやりたい人と学園西町で活躍しているボランティア団体をつなげる役割を果たしていくことを目的に発足しました。人の役に立ちたい、力になりたい願う方々のお手伝い、相談に応じています。

支え愛ネットについて

2018年12月より始まり、現在利用登録者27人、登録ボランティア16人でゆくり順調に運用しています。地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活動できる地域コミュニティにしていくことを目的に活動しています。利用者からは、「ひとり暮らしだが、ご近所にちょっとしたお手伝いを頼める人がいると心強いです。」と、喜びの声が届いています。今のところはゴミ出しと買い物サポートですが、コロナ禍でも考慮しつつ活動を広げていきたいです。

●公園パトロール隊の活動について

西町内の7つの公園を「こどもと共に、こどもと学ぶ」をモットーに、子ども達が遊ぶ時間に巡回していただいています。時には、子ども達からお礼の言葉でいっぱいの手紙をもらうそうです。「いつも子ども達から元気をもらっている!」と、言われますが、パトロールの途中には子ども達の話や丁寧な聞き、子ども達の心に温もりと安心を与えてくださっているように思います。今では子ども達だけでなく、保護者からも声をかけてもらうことがあるそうです。



お手伝いします

- お買い物
- 掃除
- 調理の手伝い
- 針仕事
- 家具の移動
- 電球取り換えや簡単な電化製品の点検
- その他個別の相談

コロナ感染予防に際し、お断りするという事項もあります。

ボランティア・利用者募集中

どちらも西町福祉センター(☎792-9572)へお問合せ下さい。
後日、コーディネーターがご連絡致します。



ボッチャ世代間交流会

11月28日に学園西町福祉センターで大人(高齢者)と子供がボッチャを楽しみながら交流を図るイベントが行われました。参加したのは、学園長寿会の会員から8名、小学生*7名、高校生1名。第一試合は大人と子供の混合チーム、第二試合は大人と子供の対抗戦。ゲームの経過とともに白熱し、最後の一投で盛り上がりは最高潮に達しました。大人が投げるボールを子供が手渡しあげたり、大人が子供にアドバイスしたり声援を送り合う等、あちこちで小さな交流がありました。ボッチャが終わると、ひと月早いサンタクロースが登場。サンタクロースのダンスに会場が笑いに包まれて交流会は幕となりました。

(「ピバ!ニュータウン 1月号(vol.780)」に掲載されました)

*小学生は学園都市地区民生委員児童委員協議会の学園ジュニアチーム

「トライやる・ウィーク」受け入れました

～取り組みを通じて学校・家庭・地域社会の連携を深め、
社会全体で子どもたちの人間形成や社会的自立の支援を行う～

11月8日(月)～12日(金)の5日間、太山寺中学校の生徒2名が、当センターへ体験活動にきました。まずは、ふれまち協について、地域福祉センターの役割の説明を聞いてもらうことから始めました。センター周りの樹木の剪定・花壇の整備、定例活動(ひまわり、ふれあい喫茶)の準備・進行、サークルへの参加、車いす体験、ボッチャ(ルール説明・進行)体験等々。ふれ協メンバーと共に、活気ある毎日過ごしました。この体験が、生徒たちが活躍する将来へのお手伝いになったのなら、嬉しく思います。

